

ようこそ、泡瀬特別支援学校ホームページへ!!

本校は、肢体不自由児のための特別支援学校で、昭和 54 年4月、沖縄整肢療護園中部分園（現、沖縄中部療育医療センター）内に設置された県立那覇養護学校の分教室としてスタートしました。その後、昭和 60 年4月に沖縄県立泡瀬養護学校として独立開校。沖縄県中部地区の肢体不自由教育を担い続け 38 年目を迎えた今年度は、小学部、中学部、高等部合わせて 93 名（令和 5 年4月1日現在）の児童生徒が学習に励んでいます。

本校の校長室には、校訓として「あかるく（明朗）・なかよく（愛）・たくましく（自立）」の三つの言葉があります。子どもたちが、この三つの言葉のように、元気いっぱい、楽しい学校生活を過ごしてくれると嬉しいなと考えています。

始業式の朝、子どもたちに校長からの3つのお願いをしました。

1つ目は、学校の中で自分の好きなことをたくさん見つけてください。「朝の会」「図書館で本を読む」「iPad」「音楽の授業」「絵を描くこと」「外国語活動」「中庭の芝生」「国語・算数・理科・社会」「隣の公園」なんでもいいです。学校の中で自分の好きな時間や場所、好きなお勉強が見つかる、と、と、と、学校が楽しくなると思います。

2つ目は、お友達や先生といっぱいお話をしてください。自分のことを伝えたりお友達や先生のお話を聞いたりすることで、「好きなお菓子はチョコなんだ」「こんなおもしろい TV 番組があったんだ」「つりが好きなんだ」「3人家族なんだ」、お互いのことがとととわかるようになると思います。きっとお友達や先生と、とととも仲良くなれると思います。

3つ目は、自分のできることを増やしてください。「自分のペースでかまいません」、「自分のやり方でかまいません」、「手伝ってほしいことをつたえることでもいいんです」ゆっくりゆっくり少しずつ自分のできることを増やしてください。できることが増えると嬉しいです。きっと自分が好きになります。次にやってみたいことも見つかると思います。

以上が、校長から子どもたちへのお願いです。子どもたちと学校生活をおもしろがり、いっぱい笑って、ステキな笑顔があふれる学校を作っていきたいと思います。

これからも、本校の教育にいつそうのご理解、ご支援をくださいますようお願い申し上げます。

令和5年4月吉日

沖縄県立泡瀬特別支援学校

校長 田盛 信寿